

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	051	社会教育事業	中	事業	01	社会教育事務事業		
小	事業	01	社会教育事務事業	本	庁			他	事業

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	社会教育法			
根拠例規	無	坂井市社会教育委員設置条例			
関連計画・マニュアル	無	坂井市教育振興基本計画、坂井市スポーツ振興基本計画			

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査及び審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、より高い文化の創造を図る。

**【事業の概要】**  
社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営

- 報酬 社会教育委員 15名 510千円
- 賃金 社会教育指導員賃金 5名 8,570千円
- 報償費 生涯学習講演会講師等謝礼 525千円
- 旅費 221千円
- 需用費 83千円
  - 消耗品費 5千円
  - 食糧費 9千円
  - 印刷製本費 69千円
- 委託料 20千円
  - 警備委託料 20千円
- 使用料及び賃借料 21千円
- 負担金 68千円
  - 県社会教育委員連絡協議会負担金 41千円
  - 東海北陸社会教育研究大会負担金 6千円
  - 県社会教育研究集会参加負担金 6千円
  - 県社会教育連絡協議会会費 15千円
  - 県社会教育連絡協議会会費 15千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,448	1,499	1,472	△ 51
	人件費	3,466	2,720	3,538	746
	総事業費	4,914	4,219	5,010	695
人員	正職員	0.45 人	0.34 人	0.44 人	0.11 人
	臨時職員	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.00 人
	人員計	0.70 人	0.59 人	0.69 人	0.11 人
財源内訳	国県支出金	198	216	216	△ 18
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,716	4,003	4,794	713

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	生涯学習・スポーツ報告書作成	人	目標		1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明	報告書作成回数						
指標	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標		760	760	359	255
			実績		760	700	229	300
			達成率(%)	0.0	100.0	92.1	63.8	117.6
指標	指標の説明	生涯学習講演会の参加者を兼ねる						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	一年間の事業の総まとめとして報告書を作成し、行ってきた事業を検証することにより次年度事業のより良い取り組みにつなげています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			生涯学習事業では参加者が増加傾向にある中、生涯学習講演会実施において、ニーズの高い著名な講師を選定することで、老若男女幅広い年齢層の市民参加につながっています。
成果と改善点	社会教育委員の会を年4回開催し、各種研修会にも参加しました。また、合宿通学事業の実行委員として事業視察を行った。生涯学習講演会では、昨年に引き続き、俳人夏井いつき氏による「句会ライブ」を開催し、老若男女問わず760名の参加があり盛況を得ました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	社会教育法に基づき社会教育委員の会を設置・運営する必要があります。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	051	社会教育事業	中	事業	06	社会教育団体補助事業		
小	事業							他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、生涯学習課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。	
【事業の概要】	
○補助金	1,840千円
坂井市PTA連合会事業補助金	250千円
青少年育成団体運営補助金	240千円
・ボーイスカウト第5団	70千円
・ガールスカウト第17団	70千円
・ガールスカウト第20団	70千円
・三国海洋少年団	30千円
坂井市かるた協会事業補助金	350千円
坂井市女性の会運営補助金	1,000千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	1,840	1,840	1,860	0
人件費	2,326	1,273	1,958	1,053
総事業費	4,166	3,113	3,818	1,053
人員				
正職員	0.20 人	0.07 人	0.16 人	0.13 人
臨時職員	0.55 人	0.45 人	0.46 人	0.10 人
人員計	0.75 人	0.52 人	0.62 人	0.23 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	4,166	3,113	3,818	1,053

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	%	目標	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
			実績		25.1	28.2	29.5	25.7
			達成率(%)	0.0	75.4	84.7	88.6	77.18
指標の説明								
指標	1人当たり自己負担金	円	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績		13,018	10,122	9,871	11,873
			達成率(%)	0.0	130.2	101.2	98.7	118.73
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	どちらの指標も7団体の平均値として目標に近い結果が出ていますが、各々としてはかなりの差異があります。会員の増加や自己財源の確保などを促し、個々の団体としても目標値に近づけるように取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題			
団体の活動内容等にもよりますが、補助率だけでなく上限を決めているため、事業費・会員数が多い団体は、補助率が著しく低くなります。公平性からの点でも改善が必要だと思われます。				
成果と改善点	地域社会の活力向上や、社会教育活動を通じた市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営を支援し、組織の育成を図りました。なお、各団体には、自己財源の確保等による補助金割合の適正化を促しており、今後も自主運営力を高める必要があります。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大	事業	151	市民運動推進事業	中	事業	01	市民運動推進事業		
小	事業							他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。	
【事業の概要】	○負担金	416千円
	坂井市民運動推進協議会負担金	220千円
	あすの福井県を創る協会負担金	196千円
	第14回坂井市花壇コンクール	
	審査日	8月26日（月）坂井地区・広域
		8月27日（水）三国地区・丸岡地区
		8月28日（木）春江地区
	場 所	市内の花壇
	参加数	44地区団体
	坂井市ふるさとづくり大会	
	期 日	1月22日（水）
	場 所	ハートピア春江 大ホール
	内 容	坂井市市民運動実践者表彰 生涯学習講座

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	416	416	416	0
	人件費	1,230	1,184	1,517	47
	総事業費	1,646	1,600	1,933	47
人員	正職員	0.05 人	0.07 人	0.11 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.50 人	0.40 人	0.41 人	0.10 人
	人員計	0.55 人	0.47 人	0.52 人	0.08 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,646	1,600	1,933	47

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	ふるさとづくり大会参加者数	人	目標	300	300	300	300	300
			実績		760	700	229	398
			達成率(%)	0.0	253.3	233.3	76.3	132.7
指標	指標の説明	参加人数						
指標	市民運動被表彰者数	人	目標	15	15	15	15	15
			実績		12	3	11	17
			達成率(%)	0.0	80.0	20.0	73.3	113.3
指標	指標の説明	表彰者の個人・団体数（団体は1人と算出する）						
指標	花壇コンクール参加団体数	団体	目標	65.0	65	65	65	65
			実績		44	60	67	67
			達成率(%)	0.0	67.7	92.3	103.1	103.1
指標	指標の説明	コンクール申込団体数						
指標	花の種配布地区団体数	団体	目標	170.0	170	170	170	170
			実績		132	125	110	104
			達成率(%)	0.0	77.6	73.5	64.7	61.2
指標	指標の説明	花の種を配布した団体数						
指標に基づく評価	大会参加者や、花壇コンクール参加団体が増えています。事業の内容の検討や周知の徹底などが増加へとつながったと考えます。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>今後も市民運動などについて、さらに周知するなど事業推進に努めます。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>坂井市民運動推進協議会による「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、より一層豊で明るく、住みたくなるまちづくりを目指して、市民運動への意識向上と推進を図りました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大	事業	001	国際交流推進事業	中	事業	01	国際交流推進事業		
小	事業							他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■国際交流（英国派遣）
---------------	-------------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	8-2	国際交流・地域交流の推進	生涯学習スポーツ課	
旧総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターンの促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市受け入れ招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。  
また、中学1年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、市内中学生を対象に国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。

**【事業の概要】**  
 <招へい期間> 令和元年6月26日（水）～7月5日（金） 10日間  
 <招へい人数> 生徒 25人（男子13人、女子12人） 引率者 4人  
 （カントニアンハイスクールおよびプラスマウルコンプリヘンシブスクール）  
 ※新型コロナウイルスの感染拡大のため中止  
 <派遣期間> 令和2年3月13日（水）～22日（金） 10日間  
 <派遣先> 英国ウェールズ カーディフ市  
 （バース、オックスフォードおよびロンドン）  
 <派遣人数> 生徒27人（男子10人、女子17人） 引率者5人  
 （市内在住で市内中学校の2年生に在学する生徒）

- 国際交流イベント  
 <日程> 令和元年12月21日（土）  
 <参加人数> 市内中学校1～3年生 14名（男子4人、女子10人）
- 英国派遣団事前研修体験参加  
 <日程> 令和2年1月18日（土）  
 <参加人数> 市内中学校の1年生25名（男子6人、女子19人）

○報償費 203千円  
 ○需用費 546千円  
 ○委託料 事業運営委託料（招へい委託料、派遣取消料） 2,973千円  
 ○使用料及び賃借料（事前研修時寝具借上料、施設使用料） 65千円

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	3,787	11,489	12,067	△ 7,702
	人件費	4,025	7,443	7,098	△ 3,418
	総事業費	7,812	18,932	19,165	△ 11,120
人員	正職員	0.60 人	1.10 人	1.00 人	△ 0.50 人
	臨時職員	0.00 人	0.05 人	0.05 人	△ 0.05 人
	人員計	0.60 人	1.15 人	1.05 人	△ 0.55 人
財源内訳	国県支出金	0	1,967	2,142	△ 1,967
	その他特定財源	0	5,800	5,800	△ 5,800
	一般財源	7,812	11,165	11,223	△ 3,353

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	受入れ家庭の満足度（招へい）	%	目標	100	100	100	100	
			実績		87.2	100	90	
			達成率(%)	0.0	87.2	100.0	90.0	0.0
指標の説明								
指標	参加者の満足度（派遣）	%	目標	100	100	100	100	100
			実績		0	106	103	95
			達成率(%)	0.0	0.0	106.0	103.0	95.0
指標の説明								
指標	事前研修および説明会の回数	回	目標	10	10	10	14	14
			実績		8	10	10	14
			達成率(%)	0.0	80.0	100.0	71.4	100.0
指標の説明		派遣までの事前研修の回数						
指標	英国派遣団員への応募者数	人	目標	100	100	100	100	100
			実績		81	83	80	99
			達成率(%)	0.0	81.0	83.0	80.0	99.0
指標の説明								
指標に基づく評価	招へい事業では、ホームシック気味の英国生徒の受け入れ家庭の満足度が低かった一方で、満足度100%以上と答える家庭もあり、各家庭均等に有意義な国際交流体験ができるよう、受け入れ家庭のサポートの徹底を続けます。派遣事業は、事前研修は行ったものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のため渡航中止となりました。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>効率性に課題</p>		
<p>英国招へい・派遣事業共に、交流に参加できる生徒はホストファミリーや受け入れ校、団員生徒と限定されるため、交流の幅を広げることが課題です。クリスマスやハロウィンにちなんだ国際交流イベントも開催していますが、今後は、招へい期間中の土曜日に交流イベントを開くなどして、より受益の公益性を高める必要があります。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>◆英国招へい事業 訪問校での交流や、ホームステイを通して異文化交流を図り、国際理解教育を進めることができました。また令和元年度は坂井市での滞在期間を1日延長し、より深く日本文化を体験してもらうことができました。滞在中に、ホームシック気味になる英国生徒がおり、今後も英国側の担当者と密に情報共有をしながら受け入れ家庭のサポートをする必要があります。</p> <p>◆英国派遣事業 派遣団員の事前研修において、令和元年度はウェールズ出身の大学教授の協力を得ることができ、より効果的な研修を行うことができました。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大のため派遣中止となったが、英語力およびコミュニケーション能力の向上や、団員同志の絆を深めることができました。</p> <p>◆国際交流推進事業 中学1年生を対象とした英国派遣団事前研修体験は、参加希望者も多く、先輩団員の研修を疑似体験することで英国派遣への興味を深めていました。国際交流イベントでは、県内ALT5名の協力のもとクリスマスにちなんだ活動を行い、高い満足度を得ることができましたが、より多くの参加者を募るため積極的なアプローチが必要です。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		



令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費	
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	01	子ども会育成事業			
小	事業								他	事業

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成に資する。

**【事業の概要】**

○負担金 156千円  
 福井県子ども会育成連合会負担金 66千円  
 坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金 90千円

○補助金 1,984千円  
 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金

ジュニアリーダー活動日数（重複含む）

	令和元年度
依 頼	47日
例 会	96日
自主企画	7日
研 修	4日
合 計	154日

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	2,140	2,139	2,138	1
人件費	6,798	5,854	5,167	945
総事業費	8,938	7,993	7,305	946
人員				
正職員	0.80 人	0.60 人	0.47 人	0.20 人
臨時職員	0.80 人	1.03 人	1.03 人	△ 0.23 人
人員計	1.60 人	1.63 人	1.50 人	△ 0.03 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	8,938	7,993	7,305	946

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標			目標	55	55.0	60.0	62.0	62.0
独自指標	子ども会安全共済会加入率	%	実績		47.8	53.4	53.4	52.0
			達成率(%)	0.0	86.9	89.0	86.1	83.9
	指標の説明	市内児童のうち子ども会安全共済会加入者の割合						
指標			目標	240	240	250	260	280
独自指標	育成者研修会参加者数	人	実績		234	237	224	203
			達成率(%)	0.0	97.5	94.8	86.2	72.5
	指標の説明	各町ごとの育成者研修会の参加者数の合計						
指標			目標	80	80	100	120	160
独自指標	壁新聞コンクール出品数	点	実績		62	69	93	86
			達成率(%)	0.0	77.5	69.0	77.5	53.8
	指標の説明	坂井市壁新聞コンクールへの出品数						
指標			目標	6.0	6	6	5	4
独自指標	専門部会の開催数	回	実績		6	12	6	5
			達成率(%)	0.0	100.0	200.0	120.0	125.0
	指標の説明	総務広報部会、育成指導部会、組織運営部会の開催回数						
指標に基づく評価	壁新聞コンクールの出品数は昨年度に比べ、減少しましたが、事前に行われた同コンクールの講習会の出席者は増加し、子ども会会員からの興味、関心は高いものと思われます。育成者研修会の参加者も高水準を保ち、子ども会役員の育成、子ども会活動への理解が深まるものになっています。							

6.事業に対する評価

	効率性に課題	有効性に課題	
現状と課題	<p>子ども会の役員が主体となって事業運営を行うことが理想的ですが、役員は基本的に1年任期であるため、事務局である市が主体とならざるを得ない現状です。子ども会の活性化に意欲のある役員には会に残っていただき、有益な助言をいただいているところですが、各小学校から選出された役員が主体となって市子ども会と町子ども会や単位子ども会のパイプ役を担っていただくことが理想です。</p> <p>また、ジュニアリーダーの人数が少なく、特定の人に負担が偏っているのが現状です。これまで以上に各イベントでの周知、広報活動を通して、知名度を上げ、ジュニアリーダーの規模を大きくすることで、子ども会の活性化につなげていきたいです。</p>		
成果と改善点	<p>令和元年度は、特に壁新聞コンクールに注力しました。出品数は結果的に昨年度を下回ってしまいましたが、表彰式に合わせて全作品の展示を行い、市民への広報活動を行いました。また、表彰式と同時にジュニアリーダーのイベントも開催し、壁新聞表彰式参加者はジュニアリーダー事業を、ジュニアリーダーイベント参加者は壁新聞事業を知るきっかけとなる催しになりました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	<p>子ども会育成者、指導者であるジュニアリーダー・シニアリーダーの育成に努め、学校、単位子ども会、まちづくり団体、社会教育団体等からの依頼に答えながら、市、町、単位子ども会の連携を強化し、子ども会全体の発展に努めます。子ども会活動の広報も積極的に行い、市の事業も子ども会活動の実情に合ったものにし、各行事の改善を図っていきます。また、ジュニアリーダーの規模拡大を目指し、次世代の子ども会指導者の育成、子ども会活動の活発化につながるよう努めます。</p>

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	06	成人式事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■成人式
---------------	------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実	部局	生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターンの促進		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

**【事業の概要】**

〈期 日〉 令和2年1月12日(日) 午後1時30分～

〈会 場〉 ハートピア春江

〈対象者〉 新成人1,125人

〈参加者〉 新成人884名(男性456人、女性428人 出席率78.6%)

○報償費 869千円

成人式実行委員等謝礼 65千円

成人式協力者謝礼 30千円

記念品等(記念アルバム) 774千円

○需用費 146千円

消耗品費 69千円

食糧費 31千円

印刷製本費 46千円

○役務費 156千円

通信運搬費 156千円

○使用料及び賃借料 (会場使用料) 11千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,183	1,147	1,359	36
	人件費	4,808	5,183	5,222	△ 376
	総事業費	5,991	6,330	6,581	△ 340
人員	正職員	0.65 人	0.77 人	0.74 人	△ 0.12 人
	臨時職員	0.25 人	0.02 人	0.02 人	0.23 人
	人員計	0.90 人	0.79 人	0.76 人	0.11 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,991	6,330	6,581	△ 340

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	式典参加率	%	目標	85	85	85	85	85
			実績		79	83	80	81
			達成率(%)	0.0	92.9	97.3	94.0	95.2
独自指標	指標の説明		式典参加率					
指標	実行委員数	人	目標	20	16	16	16	16
			実績		13	12	16	13
			達成率(%)	0.0	81.3	75.0	100.0	81.3
独自指標	指標の説明		実行委員数					
指標	ホームページ・広報掲載回数	回	目標	7	6	6	6	6
			実績		7	7	6	6
			達成率(%)	0.0	116.7	116.7	100.0	100.0
独自指標	指標の説明		ホームページ・広報掲載回数					
指標	ボランティア参加者数	人	目標	12	12	12	12	12
			実績		10	10	9	8
			達成率(%)	0.0	83.3	83.3	75.0	66.7
独自指標	指標の説明		ボランティア参加者数					
指標に基づく評価	本年も実行委員会方式で行いました。例年並みの委員数でしたが、出席率が高く、自由に意見を出し合い、話し合いを有意義に進めました。							

6.事業に対する評価

	妥当性に課題	効率性に課題	
現状と課題	<p>新成人で構成する実行委員会方式により、当日の進行をしていますが、受付の人出が毎年足りておらず、特に受付開始時は新成人で会場が混雑する状況です。実行委員以外の当日お手伝いの新成人を増員する方法を考える必要があります。</p> <p>毎年、新成人の送迎車の誘導に、多くの人員を配置していますが、通行が激しく、苦勞しています。そのため、新成人と送迎車が交わることのないレイアウトを検討していく必要があります。</p> <p>写真撮影時は、1か所で行っているため、最終カットの終了が17時過ぎになってしまいました。式典自体は14時半に終了しているで、最大で約3時間待たなければならない新成人がおり、写真撮影の場所を増やす等により短時間に抑える必要があります。</p> <p>LINEを活用し、情報発信を行っていますが、登録している人にもみ情報が発信されるので、効率性に課題があります。今後は、LINEで質問に回答したり、アンケートを行ったりすることでさらなる有効活用を目指します。</p>		
成果と改善点	<p>例年と異なる取り組みとして、地元企業の織ネーム、着物帯を使い、オブジェを作成しホワイエと展示交流ホールにそれぞれ展示することで、地元企業のPRにもつながりました。着付けボランティアやアルバムのスナップ写真の撮影は、地元のボランティアの皆さんにお願いしており、ご本人たちは、得意分野を活かせるということで毎年やりがいを感じて取り組んでおられます。</p> <p>実行委員は有志の集まりであり、それぞれに当日役割を与えることでやりがいを感じてもらい、充実した活動になったと思います。「恩師メッセージ」の動画も新成人が編集し、意欲的に取り組んでくれました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	<p>成人式に参加することで、旧友・恩師との再会をする事ができ、昔を懐かしみながら、成人としての自覚を芽生えさせる有意義な場となっている。また、実行委員が自ら企画、運営を行うことで、その当時の新成人に合った催しができていると感じるためこれからも継続していく必要があると考える。</p>

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	11	わんぱく少年団事業		
小	事業								他 事業

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■わんぱく少年団
---------------	----------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課

旧総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進
	施策	1-2	Uターンの促進

事業区分	自治事務 (任意的なもの)	事業種別	ソフト事業
------	---------------	------	-------

根拠法令	無
------	---

根拠例規	有	坂井市青少年自然体験活動事業実施要綱
------	---	--------------------

関連計画・マニュアル	無
------------	---

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

**【事業の概要】**

<名称> 「2019 SAKAIわんぱく少年団」  
 <対象者> 坂井市内小学校5・6年生33人  
 <実施期間> 学校週休日・夏休み(6月～3月)  
 <実施回数> 9回 (コロナウイルスの影響で、修了式は中止)  
 <実施内容> 結団式、スノーケリング体験、ディスクゴルフ、どろんこ遊園地、夏ウォークラリー、本格カレー作り、イルミネーション作り、お笑いダムカヤック、ドッチビー大会、冬キャンプ(ドローン&eスポー)

○報償費	協力者謝礼	30千円
○需用費		252千円
	消耗品費	58千円
	食糧費	194千円
○役務費	傷害保険料	24千円
○使用料		130千円
	施設使用料	50千円
	体験学習使用料	80千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	436	430	416	6
	人件費	3,354	4,680	4,695	△ 1,326
	総事業費	3,790	5,110	5,111	△ 1,320
人員	正職員	0.50 人	0.70 人	0.67 人	△ 0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.50 人	0.70 人	0.67 人	△ 0.20 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	130	93	63	37
	一般財源	3,660	5,017	5,048	△ 1,357

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	参加者の満足度	%	目標	100	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		100	100.0	100.0	95.7
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.00	95.70
指標の説明								
指標	募集定員(30人)に対する申込者数の割合	%	目標	30	30	30	30	30
			実績		33	16	21	23
			達成率(%)	0.0	110.0	53.3	70.00	76.67
指標の説明								
指標	1回あたりの参加団員数の割合	%	目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績		90.2	85.4	76.3	81.4
			達成率(%)	0.0	100.3	94.9	84.74	90.44
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								

指標に基づく評価  
 内容を精査し、時代に即した体験を多く取り入れることでこれまで未達だった項目をすべて達成することができました。参加率や満足度も高く、有意義な事業であったといえます。

6.事業に対する評価

	妥当性に課題	効率性に課題	
現状と課題	<p>団員は年度当初に市内の小学5・6年生を対象に募集し、30名程度の団員で1年間の活動をしています。そのため、体験内容は毎回異なりますが参加児童は固定のため、特定の個人に受益が偏ることが考えられます。</p> <p>また、参加人数に対しての経費および職員負担が多いことから、効率性がいいとは言えない状況です。その反面参加者の満足度は非常に高いため、いかに満足度を落とさず効率性を高められるかが課題となっています。</p>		
成果と改善点	<p>市内の異なる地域に居住する児童たちが、初めて訪れるような市内各所での活動を通じて、郷土の新たな魅力を発見することができました。また、他校の児童と共に活動していく中で、自ら話しかけるなどして児童間で積極的にコミュニケーションをとることで、協調性や自主性が育まれました。参加児童や保護者からの事後アンケートからも成果が見て取られ、ます。</p> <p>さらに、当該事業にジュニアリーダーが参画し、活動を間近で見ることによって参加児童がジュニアリーダーに対し関心を持ち、実際に新たなジュニアリーダーとなる児童も多いことから、将来の坂井市を担う人材の育成にも大きく貢献していると言えます。</p> <p>今回はこれまで落ち込んでいた参加人数や参加率を改善するため、例年の取り組みを見直し児童に人気の高そうなものを取り入れたほか、年間の活動を通しての畑づくりなど新しい取り組みを多く行いました。結果すべての項目で目標を達成できましたが、イベントごとの課題も多く見つかりました。今後は人気の高かった内容を継続しつつ、精度や効率性を高めていく必要があります。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	<p>地域資源を生かした活動を少人数で複数回行うことにより子どもたち一人ひとりの自主性や協調性、郷土愛を大いに育むだけでなく、新たなジュニアリーダーの育成の場にもなっていることから、将来の坂井市を担う人材育成のために今後も必要不可欠と考えます。</p>

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■青少年育成坂井市民会議事業
---------------	----------------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-3	子育て支援の充実		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	補助金事業 (団体補助)	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市補助金等交付規則、生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

青少年育成坂井市民会議の主な活動

期 日	事 業 名	場 所
5月24日 (金)	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古城ホール
7月13日 (土)	非行防止一斉キャンペーン	春江アミ、三国イーザ
9月30日 (月)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習～10月2日 (水)	丸岡中学校
10月 7日 (月)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習～ 8日 (火)	坂井中学校
10月10日 (木)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習～11日 (金)	丸岡南中学校
10月16日 (水)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習～17日 (木)	三国中学校
10月29日 (火)	「赤ちゃん抱っこ」体験学習～30日 (水)	春江中学校
11月 2日 (土)	一斉街頭啓発キャンペーン	プラント-2、ピアゴ
11月22日 (金)	坂井市青少年健全育成推進大会	春江中コミュニティセンター
11月22日 (金)	「心の教育講演会」	春江中コミュニティセンター

○補助金 青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	2,126	2,036	5,582	90
人件費	4,964	2,684	2,889	2,280
総事業費	7,090	4,720	8,471	2,370
人員				
正職員	0.70 人	0.34 人	0.35 人	0.36 人
臨時職員	0.15 人	0.23 人	0.24 人	△0.08 人
人員計	0.85 人	0.57 人	0.59 人	0.28 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	3,456	0
一般財源	7,090	4,720	5,015	2,370

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	賛助会員	人	目標	100	120	120	150	150
			実績		32	47	78	89
			達成率(%)		26.7	39.2	52.00	59.33
指標の説明								
指標	支部事業数	件	目標	120	120	120	120	120
			実績		150	140	138	139
			達成率(%)		125.0	116.7	115.00	115.83
指標の説明								
指標	青少年健全育成推進大会来場者数	人	目標	150	150	150	150	150
			実績		96	128	156	81
			達成率(%)		64.0	85.3	104.00	54.00
指標の説明								
指標	心の教育講演会来場者数	人	目標	200	200	200	200	700
			実績		96	107	140	800
			達成率(%)		48.0	53.5	70.00	114.29
指標の説明								

指標に基づく評価  
各支部の事業数は増加していますが、賛助会員数及びそれに伴う賛助金収入の減少は著しいのが現状です。また、青少年育成推進大会や心の教育講演会の来場者数が減少しており、継続して来場者を動員できる内容の充実が必要であると考えます。

6.事業に対する評価

	効率性に課題	有効性に課題	
現状と課題	<p>市が関わっている団体として、組織体系の形骸化や規約の曖昧さを問う声があります。加えて合併により形成された市民会議への認識は、地域によって差があります。そのため時間をかけて、規約および支部単位までの組織を見直し、整備する必要があると考えます。また、保護者世代からの認知度を高め、団体の不透明性を改善する必要があります。</p>		
成果と改善点	<p>青少年が健全に成長していく環境づくりや、青少年の健全な心を育てることに貢献することができました。また、中学生を対象として命の教育「赤ちゃん抱っこ体験学習」を市内のすべての中学校で実施し、青少年育成坂井市民会議から多くの方がボランティアとして参加いただいた。</p> <p>青少年健全育成推進大会について、今年度は子ども会壁新聞表彰と別に開催し、準備や進行の面で効率化が図られたが、来場者数が減少してしまったため、次年度は来場者の増加を目標に、内容の充実をしていきます。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	<p>地域が連携して将来を担う青少年の健全な育成を推進することは重要であることから、今後も継続していく必要があります。見守り活動や推進大会等への参加者が減少しているため、増加策を講じ、今後の状況を見極めながら判断していきます。</p>



令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	21	放課後子ども教室推進事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■放課後子ども教室
---------------	-----------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実	部局	生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-3	子育て支援の充実		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱 他		
関連計画・マニュアル	有		坂井市子ども・子育て支援事業計画・放課後子ども総合プラン		

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
地域づくり・コミュニティの拠点であるコミュニティセンターで、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちにさまざまな学習・体験活動の機会を提供する。		
【事業の概要】		
コミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせながら、書道やお菓子作り、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、英語教室など定期的に教室を開催したりするなど、子ども達が安全に学べる機会を提供した。		
○委託料	放課後子ども教室実施委託料	3,661千円
	(25教室・参加者延べ8,846人・開催日数合計907日)	

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	3,661	3,931	3,971	△ 270
	人件費	2,863	3,517	2,724	△ 654
	総事業費	6,524	7,448	6,695	△ 924
人員	正職員	0.32 人	0.32 人	0.22 人	0.00 人
	臨時職員	0.40 人	0.77 人	0.65 人	△ 0.37 人
	人員計	0.72 人	1.09 人	0.87 人	△ 0.37 人
財源内訳	国県支出金	2,186	2,426	2,427	△ 240
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,338	5,022	4,268	△ 684

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	事業実施教室	教室	目標	25	25	25	25	25
			実績		25	25	24	24
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	96.0	96.0
指標の説明								
指標	子どもの参加者数	人	目標	10,000	13,000	17,500	17,500	17,500
			実績		8,846	15,442	11,148	16,345
			達成率(%)	0.0	68.0	88.2	63.7	93.4
指標の説明								
指標	実施回数	回	目標	1,000	1,000	1,250	1,250	1,250
			実績		907	1,534	1,032	1,165
			達成率(%)	0.0	90.7	122.7	82.6	93.2
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標に基づく評価	実施教室数はすべての小学校区で実施できた。新型コロナウイルスの影響で年度末に教室が開催できなくて参加者数・実施回数が減ってしまった。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			
<p>市内の各コミュニティセンターにおいて教室を実施しているため、児童数や学校との距離、通常のコミュニティセンターの利用状況などさまざまな要因から市内の全児童に公平に機会を与えることが難しい状況です。また、児童クラブとの連携により人件費やその他経費の削減や効率化が見込めますが、それぞれ担当課が異なるため連携に向けての協議が必要です。</p>				
成果と改善点	<p>児童の放課後における安全安心な居場所づくりができました。また、宿題や英語、習字等の教室を実施することで、自宅において児童が一人で留守番をするのではなく、同年代の児童とにぎやかに放課後を過ごすことが可能となりました。</p> <p>居場所づくりが必要な児童に限らず、多感な幼少期にさまざまな活動を体験することで、心身ともに成熟した青少年の育成に貢献できたと考えられます。また、茶華道、料理、工作、ダンスなどさまざまな教室を提供することで児童の興味関心を引き出し、知的好奇心を高めることができました。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりを確保するために事業を継続する。また、地域の方々に協力を得ながら、学習や様々な体験・交流の機会を提供し、子どもたちの興味関心を引き出し、知的好奇心を高めていきたい。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大	事業	001	青少年健全育成事業	中	事業	26	合宿通学事業		
小	事業							他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■合宿通学
---------------	-------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実	部局	生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-3	子育て支援の充実		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市合宿通学事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
 コミュニティセンターに2泊3日または3泊4日で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分でいながら自立心を育むとともに、日常生活における家族の苦勞や、愛情の深さに気づき、感謝する気持ちを養う。

【事業の概要】

期 間	場 所	対象者	参加人数
6月20日(木)～22日(土)	磯部コミュニティセンター	磯部小学校 5年生	35名
9月26日(木)～28日(土)	春江東コミュニティセンター	春江東小学校 5年生	42名
10月9日(水)～11日(金)※	三国コミュニティセンター	雄島小学校 6年生	34名
10月30日(水)～11月2日(土)	東十郷コミュニティセンター	東十郷小学校 6年生	22名
合 計			133名

※雄島小学校については台風の影響により、急遽期間を1日短縮した。

○委託料 合宿通学事業業務委託料 1,367千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,367	990	1,365	377
	人件費	11,203	11,095	12,097	108
	総事業費	12,570	12,085	13,462	485
人員	正職員	1.55 人	1.55 人	1.62 人	0.00 人
	臨時職員	0.45 人	0.41 人	0.41 人	0.04 人
	人員計	2.00 人	1.96 人	2.03 人	0.04 人
財源内訳	国県支出金	0	479	635	△ 479
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	12,570	11,606	12,827	964

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	参加者の数 (目標値は参加校の対象児童数合計)	人	目標		251	114	245	152
			実績		133	102	178	127
			達成率(%)	0.0	53.0	89.5	72.7	83.6
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	今回の参加率は例年よりも低くなりましたが、合宿通学の参加は希望制であり、今年度の実施校で参加希望者が少なかったことが要因です。(4校中1校でクラスの約半数参加) 今後は、できるだけ多くの児童に参加していただけるよう積極的な周知に取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題		
<p>現在、旧町単位で1校ずつ実施しており、各校毎においては4～7年に一度になってます。保護者からは毎年実施を望むもあるが、当課の人員からは、4校実施で精一杯である為、受益の公平性という観点からも要望に応えられていないのが現状です。</p>			
成果と改善点	<p>家庭を離れて、長期間の宿泊を伴う日常生活体験は、学校教育では得られない大変貴重な体験であり、事業目的に沿った効果が得られました。また、地域の方がボランティアとして関わることで、地域の教育力の醸成にも繋がっています。参加児童及び保護者からも、『是非来年も！』と大変好評価を得ている事業ではありますが、運営面等で各地区から1校ずつの年間計4校での実施が現状であります。そうした中、PTA主催で実施しようという新たな動きがあり、運営の手順や留意事項のレクチャー、食器類などの備品の貸与等で協力しました。今後も、少しでも多くの児童が参加できるよう、いろいろな形で本事業に取り組んでいきます。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業			中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■坂井・延岡ジュニア交流
---------------	--------------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-2	Uターンの促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図り、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

**【事業の概要】**  
1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は「坂井・延岡ジュニア交流隊」を結成して延岡市を訪問し、延岡市の小学生と交流した。

〈期 間〉 令和元年8月19日（月）～8月21日（水） 3日間  
 〈参加者〉 坂井市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局2名  
 延岡市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局4名

○報償費（手土産） 20千円  
 ○需用費 66千円  
 ○役務費 通信運搬費 3千円  
 ○委託料 事業運営委託料 1,228千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,316	633	1,314	683
	人件費	2,527	2,139	2,242	388
	総事業費	3,843	2,772	3,556	1,071
人員	正職員	0.35 人	0.32 人	0.32 人	0.03 人
	臨時職員	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.10 人
	人員計	0.45 人	0.32 人	0.32 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金	0	185	406	△ 185
	その他特定財源	0	40	500	△ 40
	一般財源	3,843	2,547	2,650	1,296

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	参加者満足度	%	目標	100	100	100	100	100
			実績		100	100	100	100
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明 交流後アンケート参加者児童の満足度							
指標	参加者の事前研修の回数	回	目標	3	3	2	2	2
			実績		3	2	3	2
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	150.0	100.0
指標	指標の説明 交流に向けての事前研修の実施回数							
指標	交流隊申込者数	人	目標	20.0	20	20	20	20
			実績		37	36	28	28
			達成率(%)	0.0	185.0	180.0	140.0	140.0
指標	指標の説明 定員20人に対する坂井・延岡ジュニア交流隊応募者数							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	宮崎県延岡市の児童と交流を通し、姉妹都市である延岡市の歴史文化自然に触れることで、坂井市の歴史文化自然を理解する機会となりました。また、児童の自立心や積極性を育み、交流後も文通を行う、保護者に延岡市訪問を希望するなど、姉妹都市間の人的交流に貢献している事業です。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
成果と改善点	<p>2年連続で参加して延岡市児童との友情を深める児童も多く、事業後も継続して交流を続けているように見受けられます。竹田農山村交流センターの開館により、これまで以上に坂井市独自の文化・自然を体験することが可能になりました。延岡市を訪問する年には坂井市との共通点や相違点を感じられる、坂井市で過ごす年には坂井市の良さを外部に発信できる事業として、今後も有意義な交流事業として継続してまいります。</p> <p>令和元年度は延岡市に坂井市の児童が訪問しました。延岡市の児童と一緒に延岡市の旧所名跡を見学し、両市の歴史について学び交流しました。交流中はお互い助け合いながら、自分の役割を果たしており、短い交流期間にひとまわり成長した姿が見られました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>坂井市教育振興基本計画に基づき姉妹都市である延岡市と継続して交流を継続します。交流を通じて、児童に坂井市と姉妹都市の理解を深めるきっかけとなってもらい、郷土愛を育んでもらえるようにより充実した研修内容や交流内容を検討していきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	051	心の家庭教育支援事業			中事業	01	心の家庭教育支援事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

**【事業の概要】**

- 子育て講座  
 小学校を中心に多くの親が集まる機会（就学時健診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（4校）
- 家庭教育支援チーム  
 元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、子ども相談室や保護者相談などを通して家庭教育の支援を行った。
- 広報誌の発行  
 子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年5回発行した。

○報償費	1,378千円
子育て講座講師謝礼	40千円
家庭教育支援チーム員手当（35名）	1,338千円
○需用費	66千円
消耗品費	57千円
食糧費	9千円
○役務費	63千円
通信運搬費	35千円
家庭教育支援チーム員傷害保険料	28千円

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,507	1,389	1,198	118
	人件費	4,272	4,525	2,945	△ 254
	総事業費	5,779	5,914	4,143	△ 136
人員	正職員	0.45 人	0.42 人	0.21 人	0.03 人
	臨時職員	0.70 人	0.96 人	0.81 人	△ 0.26 人
	人員計	1.15 人	1.38 人	1.02 人	△ 0.23 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,779	5,914	4,143	△ 136

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	回	目標	5	5	5	5	4
			実績		5	5	5	5
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	125.0
指標の説明								
指標	独自指標	回	目標	19	19	19	19	19
			実績		15	10	12	18
			達成率(%)	0.0	78.9	52.6	63.2	94.7
指標の説明								
指標	独自指標	回	目標	50	50	48	48	48
			実績		72.5	71	67	61
			達成率(%)	0.0	145.0	147.9	139.6	127.1
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標に基づく評価	子ども相談会の開催数は年々増加しており、児童との信頼関係も深まってきていると評価できます。一方、保護者相談に足を伸ばしてくれる保護者が少ないため、保護者会などの機会を積極的に捉え、今後も継続した支援を目指します。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
各コミュニティセンターにて保護者相談室を開いているものの、訪れる保護者がほぼいないため、どのように保護者への支援を展開するかが今後の課題です。			
成果と改善点	令和元年度は、県内初となる「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受賞し、長年の功績が称えられました。各地区家庭教育支援チームの支援スタイルも確立され、市内小学校での子ども相談室では、子どもたちとの信頼関係が深まってきていると評価できます。保護者相談の機会をこれまで以上に増やすことが課題であり、令和2年度には支援員の相談対応技術力向上のための研修を重ね、さらに支援体制を強化していきます。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		



令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大	事業	001	愛護センター事業	中	事業	01	愛護センター事業		
小	事業							他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-3	社会教育・生涯教育の充実		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市青少年愛護センター条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
 青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を、補導活動等により防止することによって、青少年の健全育成を図る。

【事業の概要】

○賃金	愛護センター職員賃金（4名）	7,439千円
○報償費	一般補導員手当（延べ1,284名）	1,156千円
○需用費		689千円
消耗品費		106千円
燃料費		388千円
食糧費		58千円
印刷製本費		70千円
修繕料		67千円
○役務費		217千円
通信運搬費		135千円
手数料		29千円
自動車保険料		53千円
○委託料		235千円
エンゼルロード警備保障委託		183千円
コピー機保守点検委託		52千円
○使用料及び賃借料		349千円
コピー機リース料等		123千円
電話賃借料		226千円
○工事請負費	電話回線等工事	80千円
○負担金	全国青少年愛護センター連絡協議会負担金	12千円
○公課費	自動車重量税	7千円

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	2,745	2,527	2,557	218
	人件費	15,523	7,958	8,257	7,565
	総事業費	18,268	10,485	10,814	7,783
人員	正職員	1.18 人	0.12 人	0.14 人	1.06 人
	臨時職員	4.25 人	4.00 人	4.00 人	0.25 人
	人員計	5.43 人	4.12 人	4.14 人	1.31 人
財源内訳	国県支出金	374	377	383	△3
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	17,894	10,108	10,431	7,786

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	少年等相談件数	件	目標	150	150	150	150	150
			実績		69	48	23	119
			達成率(%)		46.0	32.0	15.3	79.3
指標	指標の説明	電話、来訪併せた少年からの相談件数						
指標	白いポスト回収点数	点	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績		526	767	550	472
			達成率(%)		52.6	76.7	55.0	47.2
指標	指標の説明	市内に設置した白いポストで回収した有害図書等の数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	相談件数は、一つの不審者案件に対し、いくつもの所から相談があることで、複数回カウントしている場合も含まれています。今後も、相談窓口の存在そのものを広く周知していきます。また、情報化社会が進む昨今、白いポストの役目も減少傾向にあると思われませんが、回収数は変わらずあるので、今後も有害図書の回収に努め社会環境の浄化活動に取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>		
<p>青少年の健全な育成のための活動内容には、地道なものがあり、すぐさま結果にあらわ得るものではない難しさがあるが、継続していく必要のある事業だと考えます。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>一般補導員314名による補導活動をはじめ各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施しました。今後もさらに各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていきます。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業			中事業	01	スポーツ推進委員運営事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	スポーツ振興法			
根拠例規	有	坂井市スポーツ推進委員に関する規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市スポーツ振興基本計画			

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力をを行い、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行うことができるようサポートする。

**【事業の概要】**  
 地域のスポーツの推進役として地域住民のスポーツニーズを把握し必要な取り組みを行った。また、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことができるようサポートした。

- 派遣指導（マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座）17回/年
- スポーツイベントの開催 ニュースポーツ教室 年10回/延べ125人  
 ニュースポーツ大会 15人
- 各種大会への協力 坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- 会議等の開催 全体会1回、部会等18回、委員研修2回

○報酬 スポーツ推進員報酬 1,341千円  
 (@32千円×41人、@29千円×1人)

○旅費 費用弁償 75千円  
 全国スポーツ推進委員研究協議会（三重県津市）  
 北陸地区スポーツ推進委員研修会（福井県福井市）

○需用費 定期刊行物購読料・資料購入代・啓発用消耗品費 49千円

○役務費 傷害保険料 75千円

○使用料及び賃借料 7千円  
 有料道路通行料

○負担金 200千円  
 会議・研修会参加負担金 117千円  
 県スポーツ推進委員協議会負担金・会費 83千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,747	2,319	1,913	△ 572
	人件費	3,689	3,142	6,517	547
	総事業費	5,436	5,461	8,430	△ 25
人員	正職員	0.55 人	0.47 人	0.93 人	0.08 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.55 人	0.47 人	0.93 人	0.08 人
財源内訳	国県支出金	0	0	10	0
	その他特定財源	20	50	63	△ 30
	一般財源	5,416	5,411	8,357	5

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	スポーツ推進委員派遣指導 依頼回数	回	目標	20	25	25	25	25
			実績		17	24	25	29
			達成率(%)	0.0	68.0	96.0	100.0	116.0
指標の説明								
指標	研修回数	回	目標	6	6	6	6	6
			実績		6	7	9	9
			達成率(%)	0.0	100.0	116.7	150.0	150.0
指標の説明								
指標	会議回数	回	目標	18	20	20	25	25
			実績		18	19	21	25
			達成率(%)	0.0	90.0	95.0	84.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標の説明								
指標に基づく評価	派遣指導依頼については、目標値よりも少ない派遣依頼数になりましたが、新型コロナウイルスの影響で、1月以降の派遣が1件もなかったため少なくとも思ったと考えます。研修回数については、目標値と同程度の研修があります。会議に関しては、今後、少し回数を減らしつつも、今後の方針等を決めていくのに必要程度の回数は必要であると考えます。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>			
<p>スポレッシュ教室ではスポーツ推進委員と市民のどちらとも参加率が低下しており、一部の委員に負担がかかっている現状が課題であると考えます。ニュースポーツラリーやニュースポーツ大会などの開催やスポーツイベントへの派遣を行っています。スポーツ活動の推進のため継続していく必要のある事業と考えます。</p>				
<p>成果と改善点</p>	<p>スポレッシュ教室などの企画運営をはじめ、市古城マラソン・市民スポーツ祭への協力、マリン体操の普及など、市民のスポーツによる健康づくりに貢献しました。スポレッシュ教室の参加率の低下や内容に関しましては、令和2年度に検討を行います。主な検討内容としては、時間帯やその内容の検討を予定しており、スポレッシュ教室の参加率向上を目指します。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大	事業	101	保健体育事業	中	事業	01	保健体育事務事業		
小	事業							他 事業	

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興	部局	生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ振興審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議を通して建議を行う。 令和3年度に坂井市で高校総体サッカー競技会を開催するため先進地視察を行う。 東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致活動を行う。 また、各種スポーツ協議会に対し負担金助成を行う。		
【事業の概要】		
○旅費	特別旅費	169千円
	日本サッカーを応援する自治体連盟総会（東京都）	
	令和元年度全国高校総体視察（沖縄県）	
	スポーツ振興センター助成金説明会（大阪府）	
○役務費	筆耕翻訳料	10千円
	ペルーパラリンピック委員会宛文書ペルー語翻訳料	
○使用料及び賃借料		41千円
	令和元年度全国高校総体視察時レンタカー代	
	地域スポーツ政策イノベーション・セミナー時有料道路通行料	
○負担金	県体育施設協会負担金	4千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	224	151	493	73
	人件費	1,677	1,337	2,242	340
	総事業費	1,901	1,488	2,735	413
人員	正職員	0.25 人	0.20 人	0.32 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.25 人	0.20 人	0.32 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	149	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,901	1,488	2,586	413

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	各種協議会負担金助成額	円	目標		8,000	8,000	8,000	8,000
			実績		8,000	8,000	8,000	8,000
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	オリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ誘致活動として、パンフレットの製作を行いました。							

6.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題		
<p>スポーツ振興計画の見直しについては、教育振興基本計画が延長されたことによりスポーツ振興審議会の開催を見送っています。2020年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会の事前キャンプ地を誘致活動を進めていく必要があると考えます。</p>			
成果と改善点	<p>スポーツ振興審議会において、スポーツ振興計画の見直しを行う予定であったが、教育振興基本計画が延長されたことにより開催を見送りました。令和3年に坂井市で開催される全国高校総体を円滑に開催するため、先進地視察等準備をおこないました。同じく、令和3年に開催される東京パラリンピックの事前キャンプ誘致を目指し、ペルー共和国パラリンピック委員会とメールにて事前交渉を行いました。今後も同国のキャンプ誘致に向けて積極的に取り組んでいきます。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事業	001	スポーツ振興事業	中	事業	01	スポーツ大会運営事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有		坂井市スポーツ振興基本計画		

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会 6月2日（日）

ゲストランナー 吉田 香織

参加者数 3,507人

坂井市民スポーツ祭 10月14日（月）

参加者数 2,872人

スポーツフェスタ・各競技大会・教室

○需用費 81千円

消耗品費 60千円

食糧費 21千円

○役務費 傷害保険料 21千円

○委託料 スポーツ大会委託料 4,800千円

坂井市民スポーツ祭  
（公財）坂井市スポーツ協会） 2,300千円

坂井市古城マラソン大会  
（公財）坂井市スポーツ協会） 2,500千円

○補助金 412千円

坂井市古城カップサッカー大会補助金 277千円

坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金 100千円

広域スポーツ大会事業費補助金 35千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	5,313	5,404	5,361	△ 91
人件費	2,683	2,072	1,121	611
総事業費	7,996	7,476	6,482	520
人員				
正職員	0.40 人	0.31 人	0.16 人	0.09 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.40 人	0.31 人	0.16 人	0.09 人
財源内訳				
国県支出金	0	20	14	△ 20
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	7,996	7,456	6,468	540

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数	目標	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績		2,872	2,831	3,614	4,830
			達成率(%)		63.8	62.9	80.3	107.3
指標の説明		坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数						
指標	独自指標	坂井市古城マラソン申込者数	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績		3,716	3,936	3,656	4,725
			達成率(%)		92.9	98.4	91.4	118.1
指標の説明		坂井市古城マラソン申込者数						
指標	独自指標	スポーツ推進委員会主管教室・大会参加者数	目標	150	150	150	150	150
			実績		107	93	129	181
			達成率(%)		71.3	62.0	86.0	120.7
指標の説明		スポーツ推進委員会主管教室・大会参加者数						
指標	独自指標	坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数	目標	25	25	25	25	25
			実績		19	18	24	26
			達成率(%)		76.0	72.0	96.0	104.0
指標の説明		坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数						
指標に基づく評価		坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数、坂井市古城マラソン申込者数、スポーツ推進委員会主管大会参加者数、坂井市民スポーツ祭種目協会開催競技数が目標値を下回ったが、多くの参加・申し込み・競技数を得ています。						

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
坂井市スポーツ振興計画に基づき取り組みます。			
成果と改善点	各種大会を開催し、スポーツの振興を図ることができました。市民スポーツ祭については市民のスポーツの普及や健康増進を図りました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭、スポーツフェスタ、各種競技大会・教室等、及び各種共催競技会への補助を継続して実施します。



令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業			中事業	02	ワールドマスターズゲームズ運営事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興	部局	生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」が令和3年度に日本で初めて開催される。坂井市では、オープン競技の「ディスクゴルフ」を開催することが決定しており、福井国体の開催を機に高まったスポーツ振興機運の承継と、世界各国に対する坂井の知名度向上並びにインハウンドの拡大を図る。

**【事業の概要】**

○旅費	特別旅費	598千円
	米国カリフォルニア州イノーバー社への協賛依頼	411千円
	米国ネバダ州大規模大会での出向宣伝	187千円
○需用費		96千円
	消耗品費	61千円
	食糧費	5千円
	印刷製本費	30千円
○役務費		132千円
	郵便料	3千円
	航空券購入費	129千円
○委託料	広報用映像撮影・編集業務	769千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,595		1,595	
	人件費	3,689		3,689	
	総事業費	5,284	0	0	5,284
人員	正職員	0.55 人			0.55 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.55 人	0.00 人	0.00 人	0.55 人
財源内訳	国県支出金	0			0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,284	0	0	5,284

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	協賛者数	件	目標		1			
			実績		1			
			達成率(%)		100.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	広報活動の実施回数	回	目標		2			
			実績		2			
			達成率(%)		100.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	計画どおり広報活動等を行うことができています。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>令和3年度の大会開催に向けて、実行委員会を主体として準備を進めます。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>坂井市で開催する「ディスクゴルフ競技会」への協賛を得るため、世界最大の競技用フライングディスクメーカーである米国「INNOVA CHAMPION DISCS社」を訪問し、同社社長の「Dave Dunipace氏」より承諾を得ました。 また、米国ネバダ州で開催されたディスクゴルフ競技会「第21回ラスベガスチャレンジ」の会場にて本大会の広報活動を行いました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大	事	業	001	スポーツ振興事業	中	事	業	06	スポーツ振興事業
小	事	業							他 事業

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興	部局	生涯学習スポーツ課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市スポーツ大会出場激励金支給要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市スポーツ振興基本計画		

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	92,270	35,565	37,058	56,705
	人件費	3,689	3,276	3,153	414
	総事業費	95,959	38,841	40,211	57,119
人員	正職員	0.55 人	0.49 人	0.45 人	0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.55 人	0.49 人	0.45 人	0.06 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	95,959	38,841	40,211	57,119

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】

- 報償費 全国スポーツ大会出場激励金 3,006千円
  - ・国体 37名
  - ・全国高等学校総合体育大会 79名
  - ・国際大会 0名
  - ・その他全国大会 288名
  - 計 404名 (67大会)
- 需用費 消耗品費 7千円
- 負担金 クロカンマラソン大会負担金 1,200千円
- 補助金 88,057千円
  - 坂井市スポーツ協会補助金 82,660千円
  - 坂井市スポーツ少年団補助金 3,897千円
  - 地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金 1,500千円

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	激励金支出人数	人	目標	350	350	350	350	350
独自指標			実績		404	444	424	396
			達成率(%)	0.0	115.4	126.9	121.1	113.1
	指標の説明							
指標	体育協会加盟団体開催事業数	件	目標	110	110	110	110	110
独自指標			実績		129	126	126	128
			達成率(%)	0.0	117.3	114.5	114.5	116.4
	指標の説明		体育協会加盟団体開催事業数					
指標	国際大会出場者数	人	目標	10	10	10	10	10
独自指標			実績		0	8	14	10
			達成率(%)	0.0	0.0	80.0	140.0	100.0
	指標の説明							
指標	国民体育大会出場数	回	目標	35	35	35	35	35
独自指標			実績		37	89	41	35
			達成率(%)	0.0	105.7	254.3	117.1	100.0
	指標の説明							

指標に基づく評価  
国際大会出場者数は目標値を下回っていますが、激励金支出人数、体育協会加盟団体開催事業数、国民体育大会出場数ともに目標値を達成しています。

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>生涯スポーツの振興、さらなる競技力向上に努めていきます。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>各スポーツ振興団体の活動計画に沿った事業を実施した。全国大会に出場する選手・監督に対し、激励金を交付し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができました。補助金交付については今後も効率的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要があります。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>	<p>全国スポーツ大会出場激励金、クロカンマラソン大会負担金、各種スポーツ団体に対する助成等を継続して行います。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大	事業	001	体育施設管理事業	中	事業	01	体育施設管理事業		
小	事業	01	体育施設維持管理事業	01	体育施設維持管理事業	他 事業			

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		生涯学習スポーツ課

旧総合戦略	政策パッケージ		
	施策		

事業区分	自治事務（任意的なもの）	事業種別	指定管理事業
根拠法令	有	地方自治法第244条の2第3項	
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則ほか	
関連計画・マニュアル	有	指定管理者モニタリングマニュアル	

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理及び運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興及び利用の推進を図る。

【事業の概要】

- 旅費 特別旅費 82千円
- 需用費 修繕料 199千円
- 役務費 手数料・火災保険料（公有建物共済分担金） 759千円
- 委託料 184,477千円
  - ・備品等処分委託料 27千円
  - ・学校開放事業等委託料（(公財)坂井市スポーツ協会） 7,100千円
  - ・坂井市体育施設指定管理委託料（(公財)坂井市スポーツ協会） 138,350千円
  - ・坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター指定管理委託料（アクアスポーツ㈱） 39,000千円
- 使用料及び賃借料 29,113千円
  - ・土地借上料（体育施設用地借上料） 29,113千円
- 工事請負費 24,775千円
  - ・三国運動公園屋内ゲートボール場屋根防水工事 他3工事
- 備品購入費（三国体育館バスケットボール移動式ゴール1対） 8,068千円
- 負担金 14,503千円
  - ・指定管理者修繕料負担金 14,483千円
  - ・B & G地域海洋センター連絡協議会負担金 20千円
- 補償、補填及び賠償金 体育施設周辺補償費 228千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	262,204	380,705	446,018	△ 118,501
	人件費	12,745	13,437	20,741	△ 692
	総事業費	274,949	394,142	466,759	△ 119,193
人員	正職員	1.90 人	2.01 人	2.96 人	△ 0.11 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.90 人	2.01 人	2.96 人	△ 0.11 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	28,500	108,891	173,210	△ 80,391
	一般財源	246,449	285,251	293,549	△ 38,802

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	学校体育施設利用者数	人	目標	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
			実績		71,309	72,167	73,608	95,723
			達成率(%)	0.0	88.0	89.1	90.9	118.2
指標	指標の説明		坂井市内学校体育施設の利用者数					
指標	坂井市体育施設利用者数	人	目標	607,750	607,000	607,600	658,000	474,000
			実績		554,348	634,646	572,296	487,224
			達成率(%)	0.0	91.3	104.5	87.0	102.8
指標	指標の説明		坂井市体育施設（29施設）の利用者数					
指標	坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター利用者数	人	目標	159,900	164,950	164,400	162,950	162,770
			実績		146,938	159,756	157,719	166,223
			達成率(%)	0.0	89.1	97.2	96.8	102.1
指標	指標の説明		施設利用者数（一般利用者と会員利用者の合計）					
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)					
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	全施設、3月の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための利用制限に伴い、大幅な減少があったため目標値を達成できませんでした。							

6.事業に対する評価

	効率性に課題	有効性に課題	
現状と課題	建設後30年以上が経過した施設が多く、全体的に老朽化が顕著になっています。また、市内に類似施設が多く立地しているため、修繕だけでなく統廃合も視野に入れた検討を行う必要があります。		
成果と改善点	各体育施設について、適時修繕を行うなど適正な維持管理による利用者満足度の向上に努めました。今後は、体育施設の維持管理に関する総合的なマネジメント計画を策定し、効率的かつ適正な施設運営を行います。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続
方向性の理由	体育施設に関するマネジメント計画に基づき、修繕だけでなく、類似施設の統廃合も視野に入れた効率的かつ適正な施設運営を行います。